下野市立石橋小学校　通級指導教室

# たんぽぽ教室だより

## 令和3年度1月号

### 今年もよろしくお願いします

新しい年が始まりました。久しぶりに顔を合わせた子供たちは、うれしそうです。

コロナ禍の冬休みで、まだ家族での行事や外出が制限されたこともあったことでしょう。子供たちの不安が少しでも軽減されるように、様子をよく見て声をかけていきたいと思います。また、コロナ対策にもより一層気をつけていきたいと思います。

さて、今年度も残り３か月。たんぽぽ教室では、自分の成長が感じられ、活動の原動力となる「自信」が持てるような指導を心がけていきます。連絡ノートへの励ましの言葉など、引き続きご協力お願いします。

### １月の行事予定

１／１１日（火）　後期後半開始
　　１９日（水）　市教職員研修会のため午後休室
　　２０日（木）　学力検査
　　２１日（金）　　〃
　　２４日（月）～２８日（金）校内給食週間
　　２５日（火）　スクールカウンセラー来校

※１１日（火）～１４日（金）まで、来年度入学するお子さんの言葉の二次検査を行うため、午前中休室となることがあります。ご迷惑をおかけします。

# たんぽぽの子供たち

Eくんは、人なつこく友達が多い子で、興味をもつと一生懸命取り組めます。ただ授業中、手わすらが多く、姿勢が崩れがちで、じっとしていることが苦手です。家では、宿題をさせるのに一苦労。なかなか集中できず、とても時間がかかります。

たんぽぽでも、前半は冴えていますが、集中力が切れると、とたんにミスを連発。分子と分母が逆になったり、分母を数え間違ったりしてしまいます。いつの間にか上履きも脱いでいます。

そこで、集中力が切れないよう、15分を目安にトランポリンで気分転換を図ることにしました。15分の学習を2回で30分。最後には、お楽しみの遊びが待っています。家庭でも、宿題は時間を短く切って、最後にお楽しみのヤクルトを用意するなどして工夫してみました。

Eくんの前向きに頑張ろうとする気持ちが途切れないように、一斉指導でも工夫していく必要性を感じています。

## 個性の評価

たとえば「キレやすさ」と表現されることもある攻撃性について考えてみると、攻撃性そのものは人類の自然環境への適応や歴史の中でそれなりに重要な役割を果たしてきたものとみることができます。かつての狩猟社会であれば、大型の野生動物に立ち向かうときには、恐れをしらぬ大胆な狩人は「勇敢な者」として高く評価されたであろうし、戦乱の世の中では猛々しく戦うことができたとして「英雄」と称された攻撃的な人もたくさんいたことでしょう。（中略）

個性に対する評価はその個人が置かれた状況との「適合の良し悪し」によって変わってくるものであり、環境との相性に依存する相対的なものです。どんな個性であってもそれを「吉」と出すか「凶」と出すかは環境しだい、ということになります。

親が子供を「良い」性格にしなくては、という過度の期待や干渉は子供を追い詰めます。これまでの多くの子供のこころの問題に関する研究から、子供の個性を受容せずに親の望む鋳型に押し込めようとする強圧的な親のかかわりは、子供にとって大きなストレスであり、自分に対する自信を失わせることにつながってしまうことが示されてきました。

自分には欠点のように見えるけど、見方を変えると案外良い面なのかもしれない。状況や相手が変われば表れ方も違うだろうし、もっとこの子の個性が生かされる環境がきっとあるのだろう。こんなふうに思う余裕を身近にいるおとなたちが持ってくれることは、どの子にとってもとても有り難いことだと思います。

*～個性のでこぼここそ社会の宝～お茶の水女子大学　菅原ますみ「発達教育」より*